



豊川市議会議員

二村たか子からのお知らせ

まちの声

豊川市赤坂町紅里26 電話87-4453 FAX 87-3937

ホームページ <http://7jigen.com/futamura/>

沢山の月下美人に逢いました！！

梅雨明けが早く厳しい暑さのなか、皆さんは暑気払いにどのような工夫をされていますか？緑のカーテンも多く見られますが、カラフルな布のカーテンもよく見かけようになりました。

私は月下美人というサボテンの花見にお誘いいただき、花が大きく開いていく様を1時間半ほど楽しみました。7センチくらいの蕾が、少しずつ、少しずつ揺れながら真っ白な大輪になります、大きなサボテンで17もの花が同時に咲きそれは見事でしたが、一夜限りなのが残念。

日常では、コミュニティバスの乗り降りの際、シルバーカーの扱いに苦労する話、踏切近くの土手の草木が伸びて見通しが悪くなって困るなどの声が届きます。盆の行事などの準備で町内会の方たちがフル回転ですし、お祭り青年も資金集めを遠慮がちに始め、いよいよ夏本番ですね。



萩町 宇都野さん宅にて

6月議会で決まった主なこと

・条例改正7のうち主なもの

1. 豊川市インフルエンザ等対策本部条例

対策本部は市長、副市長、教育長など、必要に応じて国、医師会等の協力も得て予防接種や広がりを防ぐための手立てを早く実施できることになる。

1. 国民健康保険条例の一部改正

減免の継続・減免の世帯数と金額 24年度 1,324世帯・825万円
25年度見込み1,542世帯・976万円

1. 豊川市学校給食共同調理場条例の一部改正

学校給食を2場体制にし、民間委託する。全校とも調理後2時間以内に食事が可能
廃止跡地は管財課で利活用。

1. 補正予算

1億6,259万円の減額補正で一般会計は総額は544億4,740万円になります。

主な理由は小中学校の施設環境改善交付金が24年度末手当できた事により、2億7,411万円が減、風疹ワクチン572.5万円、農業補助金、育成支援103.8万円
情報管理費(37事業のクラウド化等)3,194.8万円などです。

委員会への所管事務調査

1. 豊川市の硬式野球場の整備方針が出されました。
・県高校野球連盟の東三河地区大会が開催できるレベルの整備が示されました。
1. 桜ヶ丘ミュージアム改修
工事が10月から延期、企画展において重要文化財の展示可能な施設になる文化庁からの補助金も得られる。電気、空調整備の変更

健全な財政運営に向けて第5次改訂版が出ました。

取り組み状況

1. 市単独補助金の見直し
1. 外郭団体への委託事業の見直し
1. 市施設の管理運営業務の見直し
1. 既存公共施設の見直し
1. 借金の適正化
1. 公立保育所の民間委託、統廃合
1. 人件費抑制の取り組み
1. 人件費の適正化
1. 自主財源の確保 優良企業の誘致、市税の確保
1. 受益者負担の適正化
1. 市の所有する普通財産の売り払い
1. その他

全国787市中の豊川市の財政指標ランキング (日本経済新聞社発行、23年度決算)

	全国平均	豊川市	全国順位	備考 順位
財政力指数	0.62	0.87	139位	単年度収支
経常収支比率	89.67	85.50	148位	低い方から
実質公債費比率	11.15	7.40	162位	低い方から
将来負担比率		2.70	89位	低い方から
自主財源比率	49.77	58.60	145位	高い方から
義務的経費比率	49.99	52.00	577位	低い方から
投資的経費	12.05	11.12	318位	低い方から

今後も公共施設の長寿命化対策をすすめ、合併で増えた施設の適正化など 急がないと豊川市を支える次世代の負担が重くなります。行政も議会も目指す方向は同じと考えながら議員活動をします。

市内の建築や機器購入の入札状況

1. 東部小学校校舎改築工事 校舎2棟の建築と1棟の改修工事、渡り廊下建築と解体費用の総額・・・8億7990万円・・・
15社入札中波多野組が落札しました。
工期は平成28年2月26日まで
1. 高規格救急車の取得・・・3台
豊川市消防署の西部・南部・一宮出張所に各1台金額5376万円・・・ 指名競争入札で愛知トヨタ自動車株式会社豊川営業所が落札
1. コンピューター機器等の取得
庁内用コンピューター機器一式476台・小学校用(6校)126台とプリンター12台
金額7225万円・・・
指名競争入札8社中、株式会社アムズが落札

南部給食センターの完工式に行ってきました。

旧音羽町で行われていた給食の自校方式が終わります。自分の学校で作ることが最高の食育だと思います。が、調理員の確保がむづかしいことと、すべての調理室を建て替えなければ、衛生環境が法の基準に合いません。豊川市の全児童生徒の給食を2つの給食センターで19,000食をまかない、この9月からスタートします。



調理室内部



給食センター外観

二村の一般質問



荒れた山が皆の収めた税金で間伐できるチャンス

社会状況の変化により森や緑が顧みられずに荒れ放題です。愛知県は森林や里山、あるいは都市の緑を保全するために、平成21年から「あいち森と緑づくり税」をつくりました。個人は年額500円、法人は均等割の5%を財源として緑作りの事業計画を決めて勤めています。県の積立金は毎年20億円規模です。豊川市民は毎年4400万円ぐらい出しています。この税の基金の年度末残高は22年から13億円、23年度16億円、24年度は12億円近い見込みです。この税を豊川市ではもっと有効活用できないか、里山はイノシシやシカ、サルに荒らされ放題で高齢化のすすむ地域ではますます農業放棄が進みます。有害鳥獣対策は市が応援してくれまうので、ここのところ被害が減少しつつあります。長年、森林の経済効果が薄れ、誰も山のことを思いません。山や里山に手を入れることが、地域の環境を守り、災害にも強くなり、命の水の確保のためにも必要と思い質問しました。

質問： 豊川市の事業の現状と今後の計画は

回答： 市の森林面積は5856ha市の面積の36.4%のうちスギ、ヒノキの人工林が67.4%積極的に事業に取り組んでいるが、今までの4年間で9箇所、58.2ha。市の目標面積は平成30年までで230ha

質問： 人工林面積に対し計画は1割に満たないが、どのように決めたかと今後拡大はできるか？

回答： 目標面積は植えてから16年から60年を経過し間伐が必要とされる森林から保安林公有林を除き、県が森林簿から推定したもの。事業対象が変わらない限り拡大はない。

質問： 里山林整備は枠外の事業とのこと、合併により里山の土砂災害の危険箇所が大幅に増えた。担当職員が1人で人工林と里山の両方を調査するには無理がある、人材補充で里山整備が進むと思うが増員はできないか？

回答： あいち森づくり事業のうち、里山林整備事業は3事業あるが、今後再検討していきたいが、その前に本市の里山林の現状把握と県の意向、最終的には地元住民の理解と将来にわたる保全管理の取り組みの了承も必要となる。今年度に県と調整するが、必要なら人員配置も考えたい

質問： 課題の中で山林所有者が特定できないとありました。全国的に見て、日本の北と南が地籍調査が進んでいる、大災害時には必要と思うが、本市の地籍調査に対する今後の取り組みは

回答： 全国平均の実施率は50%愛知県内は12%、本市は10%の状況。お金はかからないが町内会など一団の単位を調査範囲とすることや関係者の合意による境界確認など多くの手間と時間が掛かり慎重な検討が必要。国の事業として、本市では南海トラフ巨大地震の津波被害想定地域、御津町の一部で基礎的な調査が実施される。

2. 市民活動センターの（プリオ内）

団体活動室利用について



質問： 6部屋中2部屋しか使用されていない、どのような努力をしたのかと、責任の所在を1つにしないと放漫になる、決めたらどうか

回答： 利用団体全てに募集をかけたし、利用が見込まれる10団体に市の職員が個別訪問して、勧誘やアンケート調査をしている。市は設置者としての責任があるので指定管理者と一体となって今後もやる。

質問： この条例案が出たとき、利用料金が高いと心配したところ当時の担当者が「減免措置もあり、市長の判断による」との回答があった。またいまの利用者から高いから減免を言われていると思う、減免の対象になるか？

回答： 現在利用の2団体はその対象にはならないが、減免対象として、NPO法人の立ち上げを目指す団体、あるいはNPO法人の立ち上げ後まもない団体への支援は考えていく必要があると思う。2団体については社会貢献活動を支援する立場であり実情を把握し、活動室のあり方を考えていく。

質問： 空き部屋の有効活用のために起業系、若者系へ拡大する考えはないか

回答： 目的が公益のものであれば良いが営利が生じるものは出来ない。提案の若者系で、若者の引きこもりの自立支援を目的とする団体で、とよかわボランティア・市民活動センターに登録のある非営利、公共性があれば活動室利用の対象になる。

福祉環境委員会 行政視察報告

7月22日～24日

平塚市・地域福祉の取り組みについて

豊川市は福祉活動計画のもと、各連区ごとの町内会単位で福祉委員を2名以上出して推進委員会を作り活動していますが、ここ平塚市ではもっと平たい関係での地域福祉村という個人参加を中心としたボランティア団体で構成されていました。市からの委託費は年間128万円で各地区同一。地域福祉コーディネーター経費が60万円、これは福祉村の拠点である。



市民館のようなところで、常駐する世話役の人の給料のようなもの。豊川市で言うと市民館活動をする人たちが自分の得意分野で地域の人々の面倒を見る。(地域の人々が自分の好きな講座に出かけてきて引きこもらないようにする活動) 役割として、ゴミ出し、話し相手、茶話会、子育てサロンなど、一人暮らしで困ったことは無料で近くの人々が手伝う感じでした。福祉委員という肩書きなどなくて、近所のお付き合いが拠点を中心にまとめられていると感じました。

太田市の太陽光発電



1. NEDO技術開発機構の太陽光発電システムの実証研究の採択を受けて777区画中553戸の住宅に太陽光発電システムが設置された。世界最大の太陽光発電団地だそうです。合計出力は2129kw、無料で取り付けてもらえて、快適そうでしたし、オール電化にする義務もなかったそうです。とてもお洒落な新興団地というイメージ

2. 太田太陽光発電所を去年から運転開始、自治体単独では初めてのメガソーラを建設しさらなる太陽光発電の導入、普及に力を入れるとのことでした。年間発電量は163万キロワット、約446世帯分の年間電気使用量

3. さらに郊外にある物流センターの屋根を借りて太陽光発電に取り組むことになった。太陽光発電の有効利用と二酸化炭素削減の目的のために、まだまだ進行中と見てきました。

新潟市の市民病院経営

豊川市民病院も新しくなり皆様のご期待に添えていると思います。ここ新潟市の場合は規模が大きすぎてなかなか比較ができません。が、いくつか質問して参考になることをまとめます。

看護師さんの負担軽減のために看護補助員の配置を各病棟ごと2名だったのをさらに増員して4名体制。どこも看護師の補充には苦勞をしているようで豊川市にも参考になると思いました。職員満足度調査も実施して待遇改善と職員の定着を目指していた。豊川市でも親の介護の問題が看護師さんたちにも出ていると聞きますがここもおなじでした。新潟では市職員と同じく休暇休業制度の利用者が拡大している。患者さんを支える地域連携パス(関係する医療機関が一緒に作った診療計画のこと)これは豊川市でも実施中です。

新潟市では救急ステーションドクターカーの設置をして、心肺停止患者のうち社会復帰ができた割合が平成18年の10%から設置後の平成20年は39.5%、24年は35.7%と断然良い状況になった。豊川市にも提案しよう。



市民病院ヘリポートにて

ご意見をお寄せ下さい。市政に関することなど、皆さんの声も掲載したいと思います。

電話 87-4453 FAX 87-3937 まで

後援会ご入会の案内

「二村たか子を囲む会」は地域の情報交換や市政への提言、夢のあるまちづくりなど自由闊達に話し合う会合を奇数月の第2月曜日に開催しています。

ご参加をお待ちしています。下記にご連絡ください。

ご入会の連絡先 豊川市赤坂町紅里26 電話 87-4453 FAX 87-3937

